

経営比較分析表（平成29年度決算）

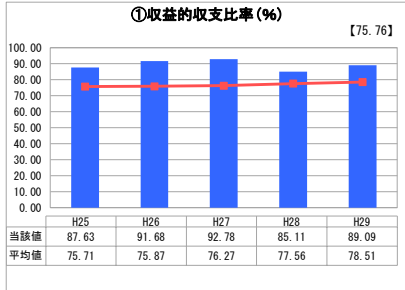
岡山県 久米南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	96.74	4,536	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,935	78.65	62.75
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,754	78.15	60.83

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



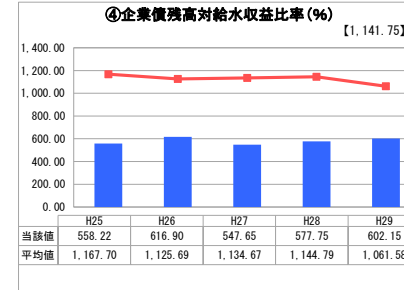
「単年度の収支」



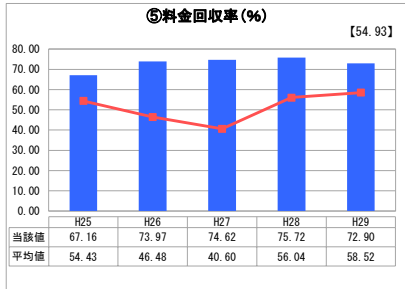
「累積欠損」



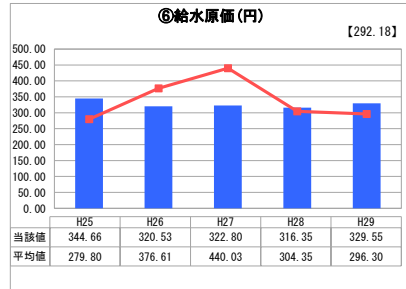
「支払能力」



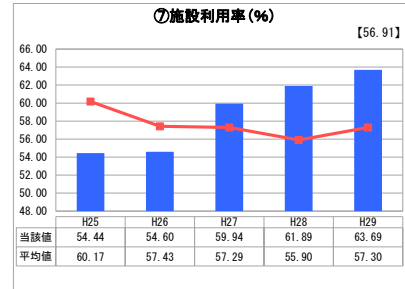
「債務残高」



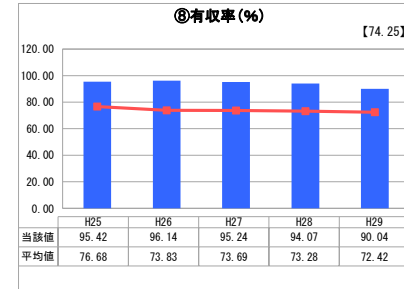
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

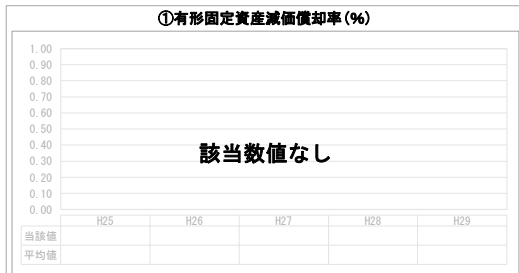


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

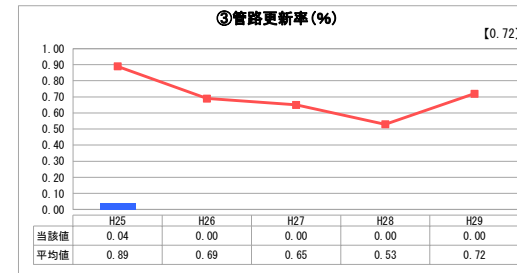
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性、効率性については概ね確保されていると思われませんが、施設利用率・有収率については、地理的要件を鑑みて効率的な給水、施設等の維持管理に努めていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

経営戦略に基づき、今後の施設等の維持管理を充実・強化するとともに今後の状況等も鑑みて計画的な更新を行なっていきます。

全体総括

安定供給の実現には、企業団からの受水が不可欠ですが、受水費の負担は簡易水道経営に大きな影響を与えることから、今後も十分な検討が必要となります。
経営戦略に基づき今後も適切な施設整備・維持管理を行い、経営の健全化に努めます。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。